

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	地球環境変動が水資源に与える影響評価調査経費		事業開始年度	平成18年度		作成責任者
担当部局庁	土地・水資源局 水資源部		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信
会計区分	一般会計		上位政策	水資源の確保、水源地域活性化等を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化に伴う気候変動により、生産活動や社会活動、自然条件の変化により水資源の需要量、供給量等が変化することが懸念されている。このため、地球温暖化による水資源への影響の評価手法等の検討を行うとともに、水資源への影響の回避・軽減策の検討を行うことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	水資源の安定性確保の観点から地球温暖化に伴う気候変動の影響を明らかにするため、中長期的な河川流況の変動及び水資源への影響を予測するとともに、利水安全度の評価手法を検討する。また、気候変動による水質や地下水への悪影響を回避・軽減するための方策を検討する。					
実施状況	平成19年度に1件、平成20年度に1件、平成21年度に2件の調査業務を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	25	25	11	-	-
	執行額	23	24	9		
	執行率	95.8%	93.5%	86.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	水資源部自らが行う契約に基づき支出していることから支出先や用途については全て、明確に把握できている。また、支出にあたっては業務完了時の検査により実施内容の確認を行っている。				
	見直しの余地	業務の発注方式について、平成21年度は、競争性のある企画競争方式による契約手続きを行ったが、より競争性を高めるため総合評価落札方式による一般競争による契約手続きを採用する余地がある。また、調査・検討に必要な基本的な水系情報などについて、他の業務と共有することにより、業務の効率化を図る余地がないか検討を行う。				
予算チームの監視・効率化	【事業廃止】 本業務については、平成21年度において所定の成果を上げていることから、廃止。					
補記	【予算科目】					
	011水資源対策費		(21年度予算額)	(21年度決算見込額)		
	・95水資源確保等の推進に必要な経費		10,625千円	9,142千円		
	・95016-2129-06 諸謝金		160千円	13千円		
	・95016-2122-08 職員旅費		334千円	8千円		
	・95016-2122-08 委員等旅費		282千円	55千円		
・95016-2123-09 水資源対策調査費		9,849千円	9,066千円			

国土交通省
9百万円

各業務の発注及び監督



【企画競争】

A. 民間企業(2社)
9百万円

気候変動による水資源
への影響検討業務等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)日水コン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	3			
直接経費	直接経費	0			
諸経費	諸経費	3			
技術経費	技術経費	1			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

A.民間企業(2社) 9百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)日水コン	8
2	(株)建設技術研究所	2
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		